

# 伸・魅力通信

## 「根っこ」「土台」「出口の姿」を確認した幼小中一貫教育研修会(その3)

幼小中一貫教育研修会の後半は、「学びづくり」「心づくり」「体づくり」「生き方」「特別支援」「授業づくり」の6つのカリキュラム別に合計の20部会に分かれて分散会を行いました。



### 心づくり

- ・家庭での「温」をつくるために、教師のコメントと保護者からのコメントを自主勉強ノートに記入するようにして、ボイスシャワーを掛けています。
- ・学園内でそろえていく取り組みや活動と、各園各校の特色を生かしていく取り組みや活動を整理していきたい。
- ・「何が良くて、どうすればよいのか」を意識して、ボイスシャワーを掛けて価値付けていきたいです。
- ・「安全基地」としての学校の在り方を、これから考えていきたいです。
- ・「『温』をつくる」「『静』をつくる」ことは、他者意識の醸成につながり大切だと思います。



## 生き方

- 幼稚園でできていることを、小学校でうまく活用していきたいと思います。
- 係活動を通してPDCAサイクルが意識され、お互いの活動を認め合えるようにしました。→係活動でがんばっていることをほめて認めることで、「働く喜び」につながると思います。
- カリキュラムに書かれている「住みよい町を作る」ことも大切だが、自分自身と向き合って自分について考える機会を作っていくことも大切ではないでしょうか？

## 特別支援

- 医療、支援室、通級指導教室などの第三者機関との横の連携を大切にしつつ、幼小中でその情報を共有して縦の連携も大切にしていきたいです。
- 書くことが苦手な子には、タブレットを活用し、打ち込んだ内容をすぐにプリントアウトできるようにしています。
- 中学校を卒業するときに、一番困難を抱える生徒はどのような生徒ですか？ → 家庭の思いと本人の思いが異なっている生徒が一番困難を抱えていると思います。